

2026年2月4日

国立大学図書館協会

公立大学図書館協会 会員館各位

私立大学図書館協会

国公私立大学図書館協力委員会

大学図書館研究編集委員会

## 『大学図書館研究』第130号小特集テーマ及び論文募集のお知らせ

『大学図書館研究』第130号の小特集テーマは「AI・DX」です。

下記の通り、テーマに関連する論文を募集しますので、皆様、応募をご検討ください。

昨今のAI等のデジタル技術の目覚ましい発展により、大学において、学習・研究・業務の方法や環境が劇的に変化しています。変化への対応に関する、研究論文、調査報告、国際会議参加報告、業務上の新しい取組みの事例紹介等、多角的な視点からの幅広い原稿を歓迎します。

従来通り、小特集テーマ以外の論文等も募集しています。こちらも奮ってご投稿ください。

なお、第129号以降、全ての投稿に事前エントリーが必要です。投稿をお考えの方は、仮標題、投稿者名、連絡先等をエントリーフォームからお送りください。エントリー期間を過ぎてもエントリーは可能ですが、投稿多数の場合は次号の査読スケジュールに回る可能性がありますのでご承知おき願います。

### 記

1. 募集記事：大学図書館におけるAIやDXに関連する論文(Word 5~10ページ程度)
2. 投稿資格：大学図書館職員、その他大学図書館の関係者
3. 投稿規程・原稿フォーマット・エントリーフォーム等：  
当誌ウェブサイト「著者のみなさまへ」をご確認ください  
[https://julib.jp/daitoken\\_page](https://julib.jp/daitoken_page)
4. エントリー期間：2026年2月4日～2026年5月11日
5. 投稿締切：2026年6月30日
6. 発行予定：2026年9月30日 ※査読進捗により論文ごと前後して発行します。
7. 留意事項：掲載は査読を経て決定します
8. 問合せ先：大学図書館研究編集委員会事務局 ([office@jcul.julib.jp](mailto:office@jcul.julib.jp))

以上

『大学図書館研究』は、1972年に「図書館職員が日頃の研究成果を発表する場を設け、その業績の積み重ねによって専門職としての力量を備えていることを関係方面にアピールすることで現状を打破しようという意図※」により創刊された査読誌です。2017年にオープンアクセスの電子ジャーナルに移行しています。

また、国公私立大学の図書館等の職員からなる当編集委員会が企画・運営・発行しており、2024年、掲載論文の根拠データ等の関連データをJ-STAGE Data上でメタデータやDOIを付して公開できるよう整備しました。※小野.『大学図書館研究』創刊と深川恒喜.大学図書館研究,2022,122,p.2127-1~2127-4,DOI:10.20722/jcul.2127